

中京女子大学

# 同窓会ニュース

1995. 10. 1 No.13

■発行 中京女子大学同窓会

〒474 愛知県大府市横根町名高山55

TEL. 0562-46-1291

## 第11回同窓会総会の日程のお知らせ

### 〈日程変更のおわび〉

今回は、創立90周年を迎えて、大学内で総会を開催することになりました。大学祭とドッキングし、後輩との交流を通して母校の発展を、この機会に見ていただきたく日程を変更させていただきました。尚、当日卒業生の伊藤由利子さんの全日本エアロビックス選手権保持者（平成6年）によるアトラクションも予定しており、是非ご参加下さい。

- 日時 平成7年10月29日（日）11：00～
- 場所 中京女子大学アリーナ第二体育館
- 会費 3,500円

※JR大府駅前よりマイクロバスをご利用下さい。  
発車時刻 10時30分

### 新会員を迎えて

平成6年度卒業生		
第2回 大学院		8名
健康科学研究科		
第29回 体育学部体育学科		103名
第27回 家政学部食品栄養学科		55名
第27回 家政学部児童学科		57名
第44回 短期大学部体育学科		113名
第46回 短期大学部生活学科		136名
合計		472名

### クラス会のお知らせ

昭和32年度短大家政科卒業の皆さんへ  
平成7年10月29日（日）同窓会后、16時より形原温泉「鈴岡」にて一泊クラス会を開催  
JR東海道線三ヶ根駅よりタクシーで5分  
東名高速音羽蒲郡ICより30分

#### 連絡先

木村（旧姓 天野） 0562-47-2932

水野（旧姓 丸山） 0566-76-0139

同窓会前日及び一泊後のホテルの手配も致します  
なのでお知らせ下さい。

詳細は後日ご案内を送付致します。

## 母校への思い



中京女子大学同窓会長  
石川 八重

会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。本年11月1日創立90周年記念式典が挙興されるに当たり、過日お送りいたしました趣意書に基づき、皆様のご理解とご協力を頂き誠にありがとうございました。「母校の発展に寄与する」本会の目的は、皆様には周知のとおりです。私ども同窓会の企画運営を任せさせて頂く役員は創立90周年記念として大学サイドから要請でもありました、語学学習設備(AV.LL教育機器設備)を寄贈することを重なる協議検討し、決定いたしましたことをご報告いたします。これは大学院、大学、短期大学部教育研究活動の目的に使用し、学生の基礎能力の向上に使用されるものであります。

顧みますと、名古屋市東新町での学んだ頃の学園では、当時東海地方では最高だと云われた体育館でしたが、グラウンドは校庭ほどのもので、しかも中・高・大学と共同の校舎、施設設備等、何があったのかと記憶には残っていない。その中でも若き情熱は、各々専門教育に注がれ輝いていました。昭和20年代半ば、戦後の世の中が平和に向っての息吹き始めた頃のこと。

同窓会員が1万人になろうとする現在、多くの方々が各々広い分野に進出され、様々な環境や施設で学んだその力を発揮され、活躍されています。伝統とは、人々によって造られるもので、こうして先輩後輩の人々が造りあげた母校が90周年を迎えられる今、何と幸せなことかと万感胸にせまるものがあります。私自身、県立高校教諭を定年退職した現在も、県女子体育連盟副会長として、また市体育指導員として地域のスポーツ振興に、及ばずながらお役に立っている事は、生涯体育の道に進もうと志ざし夢を持ち、学んだ母校があったからだと思っています。

大府の丘に白亜の殿堂とも云える大学のキャンパスは素晴らしい施設、設備であります。本年4月新しく学部改組された健康科学部、人文学部が更なる充実と発展する事と、同窓の方々の尚一層のご健康とご活躍を祈願いたしております。

## 90周年を迎えて



学長  
谷岡郁子

構想から約10年、「健康と文化」からなるこの度の大学全学部・学科の改組並びに我が国初のアジア文化学科の新設は、全国的な反響を呼び各界から予想以上の評価をいただいております。また、同窓会ははじめ多くの方々のご厚志により、LL教室の充実等一連の90周年記念行事が順調に進んでおりますことを心より厚く御礼申し上げます。

顧みますれば、90年前に故内木玉枝先生が本学園を創立された当時は、知育・徳育・体育といわれ、学校での鍛錬の一つであった体育が、現代では健康保持・増進のためにスポーツをするようになり、身体運動に対する考え方も変わってまいりました。さらに、日々の食糧の確保が難しかった時代から飽食の時代へと移り変わった中では、「運動・栄養・休養」を研究するいわゆる総合的な「健康科学」の必要性が増大してきております。

なお、オリンピック選手も輩出するほどの歴史ある本学の競技スポーツについても、引き続き競技スポーツ系の学内コースを設け、優秀な人材の育成にも力を注いでおりますので、お嬢様や、教え子の皆さんのなかに将来有望な選手がいらっしゃいましたならば、是非母校への進学をお薦めくださるようお願いいたします。

また、北京での世界女性会議に出席して再認識いたしました。日本人が真の国際人となるためには、まずアジアの中の日本人であることの真の意味を問い、そして次世代を担う子どもたちの育成に寄与することが、何よりも大切なことであり、そのためには「人間文化」について考える必要性が今後ますます高くなるものと考えております。

最近では、おしめ持参の大学院生も在籍するようになりました。これからは、卒業生の方々にも日頃の研究成果をできるだけ還元していきたいと考えております。皆様の生涯学習の場として、活気みなぎるキャンパスを是非ご利用いただきたく、ご案内申し上げます。

## 新会員の声



貞 広 千 波  
(平成6年度大体卒)

陸上競技(走高跳)の記録を更新したいと考え、日本電装に就職し、練習に集中した生活をしています。学生時代とは違い、競技成績の結果ですべてが判断されるので、厳しいものがあります。就職してから、私は競技することが仕事だと思うと逆にプレッシャーとなり、学生時代のような楽しさを忘れていたような気がします。特に今年は、怪我をしていたこともあり、私自身何の為に競技をやっているのかすごく悩みました。

今年は、一番重要な日本選手権が6月に行われ、2位という結果に終わりました。運よく福岡で行われるユニバーシアードにも選ばれ、今は「学生の時の様に楽しんで競技をしよう」と、前向きに考えられるようになりました。いろんな面から競技を見直すことができ、私にとってプラスになったことが一杯だと思っています。これも私だけの力ではなく、阪本コーチ初め、諸先生方、先輩、後輩の御陰だと感謝の気持ちで一杯です。今しかできないことだから、「悔いの残らないよう精一杯努力していきたい」と思います。



川 村 廣 美  
(平成6年度大学院卒業)

中京女子大学での学生生活を終えて、半年が経とうとしています。大学で過ごした6年間の様々な経験から、ここまで育てて戴きました。この期間に温かい御指導・御助言を下さいました先生方や先輩方、心の支えであった友と出会えたことに感謝しています。

今春より、愛知県立岩津高等学校に勤務しています。本校は、普通科、食物調理科、生活デザイン科の3科から構成され、中でも食物調理科は卒業と同時に調理師免許の取得できる愛知県下唯一の学科です。その関係で、家庭科教員としてのみでなく、管理栄養士としての最新の知識・技術・指導が必要とされます。学ぶ日々はこれからも続きます。

運あって、この教師としての道を選び、進むことを決めました。物事を教え、それが理解できた時に見せる生徒の満足そうな顔は、この決心を固いものにと導いてくれます。そして、これから出会う生徒達と共に歩み、共に語り合い、共に成長していけるよう努めていこうと思っています。

中 本 愛 子  
(平成6年度食栄卒)

私はこの4月より、教壇に立っています。私は今まで、教わる立場だったのが一転して、教える立場に立った時、はっきり言って戸惑いを感じました。

まず第一に、人に教えるのはなんて難しいのかということ強く感じました。頭では分かっている、それを言葉で説明するというのがうまくできないのです。はじめはどうなることかと思い、いろいろ悩みました。ちょうど管理栄養士の国家試験と重なり、かなり精神的にまいりました。しかし、試験を突破できた6月半ば頃から、だんだんと自信がついてきました。それからは、自然と授業時の声も大きくなり、もう授業の前にあれこれ考えることがなくなりました。

このことから私は、何をやるにしても「自信」が大切だと思うようになりました。自分は出来ると思っていて、できる限りやってみるんです。それで失敗しても、別に問題ないと思うのです。

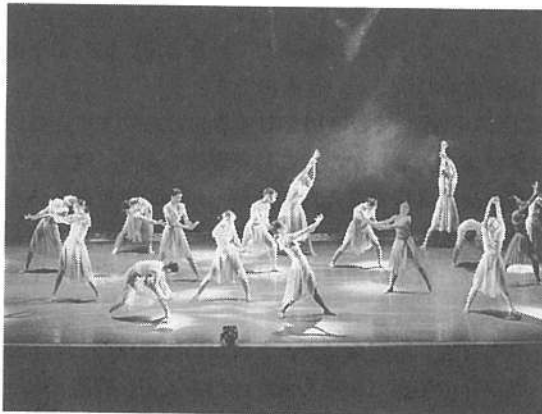
私はこれから教員を続けていく中で、様々な壁につきあたるとは思いますが、それを突き破るくらいの自信を持って、のり越えて行こうと思っています。

## 卒業生の活躍



団野美由紀 (旧姓 坂田)  
光ヶ丘女子高等学校  
常勤講師

私にとって中京女子大学入学が、人生を大きく変えました。高校時代、ハンドボールで膝を痛め、体育大への進路に迷いましたが、中学時代から体育教師になることの夢をどうしても捨てきれず、傷を持ったままの入学となりました。大学では創作ダンス部に入部しました。ダンス部の顧問である猪崎弥生先生の魅力とともに、踊ることに引き込まれ、そして、踊りの心を先生に教えていただきました。卒業後縁あって、光ヶ丘女子高校に勤務することになりました。そこで「ダンス部を作ってほしい。」と思ってもよらない依頼があり、「私にできるのだろうか」という不安とともに、週二回の同好会から出発しました。何もかもが初めてで、生徒も私も暗中模索の毎日でした。でも「いつか中京女子大学の創作ダンス部のように、素敵な部活にしたい」というその思いで、生徒も私も頑張っていました。同好会2年、部になって2年の4年後に、「地方大会のない全国大会は学校は認められない」という壁を、生徒の熱意で乗り越え、全国大会への参加の許可がおりることになりました。初出場にもかかわらず予選を通過し入選。二年目は特別賞、四年目に奨励賞、そして昨年はNHK賞を受賞しました。苦しんでやっとできた作品であったため、生徒も私も喜びと感激と信じられない気持ちとで、涙が後からも後からも続きました。こんな感動を味わえることができたのも、私に自信を与えて下さった恩師の猪崎先生、お世話になった大学の諸先生方のおかげだと感謝しております。部活動を運営していくことは大変難しいですが、生徒たちがキラキラした目で「先生、踊りを教えて!」と言い続ける限り、私も彼女達と一緒に青春の中を走り続けようと思っています。





竹林 愛子 (旧姓 橋)  
昭和44年度児童学科卒業

児童学科を卒業して早25年。あっという間に過ぎたような気がします。今年7月29日、名古屋の都ホテルで、初めてのクラス会を開催致しました。出席者17名。懐かしい恩師の方々にも御足労いただき、とても楽しい賑やかな会でした。次回5年後の再会を約束して会を閉じました。

さて、私は卒業後2年間、大学附属幼稚園に勤務し、結婚を機に滋賀に帰り、長浜市立幼稚園に21年間（教諭4年間、主幹17年間）をし、その後2年間は長浜市教育委員会に入り、指導主事として幼稚園・小学校・中学校の先生方の指導にあたってきました。計25年間の教師生活でしたが、体調をくずした事や、長男の大学卒業を機に今年3月退職しました。その間、様々な経験をし全国を出張で飛び歩き、たくさんの方々と出会い、御指導を賜りました。特に、指導主事時代は、まだ女性の指導主事は少なく、男性の中で、しかも小・中学校の事を充分知らないで…。何もかも一からの勉強でした。連日、会議と出張。常に頭の中では数ヶ月先の事を考えて念入りの準備、寸分の手違いも許されません。同時に同和教育の講師にも委嘱されていたので、夜の会議もありました。今、思い出しても自分ながらよくやってこれたものだと思います。これも周囲の皆様の暖かい励ましのお陰と、感謝しております。

現在は、週3日間、病院でSSTの指導をしています。やりがいのある仕事です。家庭では、常に大学の精神“良妻賢母”を頭に置き、家族4人力を合わせて幸せに過ごしています。主人は7年前に事故に会い、現在車イスの生活です。

私達の年齢になると、それぞれ皆さん様々な人生を送られている事と思いますが、健康を第一に心豊かな人生を送りたいものですね。



岩城美智子  
昭和56年度大体卒業

## 「ボランティア活動を超えて」

—ホームレスの方々の支援を通して—

私は大学を卒業した後、いろいろな事をしてきました。その中に愛知県下の日雇い労働者（3000～3500名）のうち就労ができず、野宿に追い込まれている人々ホームレスの方々（400～500名、年末年始には900名以上になる）の支援活動をしています。日本の基幹産業を底辺で支えながらも、生活の保障がされず“生き地獄”を味わされている方々への支援です。

私の関わっているのは、毎週月・木曜日夜の炊き出し、毎週金曜日の夜まわり、そして年末年始の特に仕事のない時期の越冬活動のお手伝いです。彼らの暮らしの厳しさは、出会って初めて知りました。住は云うに及ばず、衣食を保障されない労働

条件下におかれ、健康を害していきます。

身体を悪くし、仕事につけず、長期のホームレス状態が続くと、いっそう身体を壊していきます。彼らの平均寿命は54歳です。日本男子平均寿命79歳と比べれば、その暮らしの過酷さがわかるというものです。

日本国憲法第25条、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあります。私は、これは憲法以前の問題として、人間が生きる上で当たり前の事と思います。がしかし、これが理想であり、現実でないことを多くの活動で知りました。日本の近代化、そして戦後の高度成長を底辺で支えた人達が、都会の寄せ場という所に集まり、建設、土木などの私たちの生活になくはならない部分を支えています。彼らは景気の調整弁として使われ、日雇いという就労は必要な時は使い、必要でない時はいらぬという、資本の論理にふりまわされ、不安定な生活を余儀なくされています。

昨今の不況は、すぐに彼らの生活をおそい、仕事は減り、金もなく、野宿をせざるをえない状態なのです。そんな彼らとの出会いは、私にとってこの社会の矛盾、問題を知り、私自身の生き方を考えさせられる大切な時間となっています。

## 卒業生の学内での活躍

### 卒業後子育てを終え、大学寮監として

伊藤 静代 (旧姓 清田)

平成6年2月、久しぶりに母校を尋ねた私は、懐かしさでいっぱいになりました。汗を流し走った坂道。「ラスト3本」と、友の声が聞こえたような錯覚さえ覚えました。まるで20年間前にタイムスリップしたようです。

同年4月より学生寮、寮監として勤務することになった私は、家族の協力もあり、今年で2年目の夏を迎えようとしています。元気のよい娘達72名と、ひとつ屋根の下で暮らしています。この一年間を振り返ってみると、入学早々には、目標を見失ってか退学したいとか、クラブ活動での悩み、張り切りすぎでのケガ、盗難、入院、夜中の抜け出し、いたずら電話、いろんな事がありました。

自分から悩みを話してくれる娘には、アドバイスもしますし、また母親にもなります。でもすべてがこうは行きません。

「オヤ、ナンカヘン!」「ナニカアルナ!」

ここが私の勤め先。そんな娘には、私の方より話しやすいように持って行くと、胸の内を明かしてくれる時もあります。たいしたアドバイスも出来ませんが、解決が出来た時には、この仕事をして良かったと、つくづく思います。又、反対に学生達も私の家族の事、例えば子供達の勉強、進学と気遣ってくれるのです。なんてかわいいのでしょうか。

寮生活の中で、団体生活の大切さ、先輩、後輩のつながりを大切に、仲間意識を確かめながら楽しい会話のある寮を目指し、娘達72名と今後も頑張っていきたいと思っております。



谷 嵯 好 美  
(旧姓 荻野)

### 陸上部の後輩と共に

私は、1988年3月女子大を卒業後も、企業で仕事をしながら陸上競技を続けました。1990年結婚と同時に、陸上競技をやめるつもりでしたが、主人の理解のもと主婦業をしながら陸上競技を続け、女子大学卒業後7年間、選手として頑張りました。現在は妊娠9ヶ月のため、陸上競技はお休みしています。

私が結婚後、女子大で練習をする様になったある日、学生から

「練習を見て下さい。」

と、言われた事から、学生の練習を少しずつ指導する様になりました。最初は、私自身の練習と指導との両立や、うまく指導が出来ず、理解してもらえなかったりと、ずいぶん苦勞もしましたが、最近では学生たちも、練習内容を理解し、積極的に練習してくれているので、私も指導してとても楽しいです。うれしい事は、ほとんどの学生が、自己記録を更新して卒業してくれている事です。そして、私自身が学生を指導する事で、たくさんの事を学び、逆に教えられたり、時には学生に応援してもらったりもしました。おかげで、私の陸上競技の成績も、結婚後に大きく自己記録を更新する事が出来ました。今は、8月に母親になるため、学生たちと一緒に走ることは出来ませんが、来年は、指導しながら走りたいと思っています。多くの学生に卒業しても、結婚しても、そして子供を産んでも、陸上競技を続けてほしいと思います。私の行動が学生の刺激になればと思います。

これからも、多くの学生の笑顔が見られる様に指導したいと思います。そして、皆と長く陸上競技を楽しみたいと思っています。



## 後輩に就職の情報をお寄せください



就職指導委員長

田村 明

卒業生の皆様におかれましては、ご清祥にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

皆様の母校は本年創立90周年を迎えました。この伝統ある学園をますます発展させるべく、大学の学部学科の改組組織転換や新学科（アジア文化学科）の創立など、10年、20年先を見通した大学の改革に、学長はじめ教員一丸となって奮闘しております。

ところでこの紙面をお借りし、卒業生の皆様に大学の就職指導委員会よりお願いがございます。ご承知のように昨今の女子大生の就職におきましては、氷河期から超氷河期とたとえられるように、困難を極めております。本学を巣立つ学生が1人でも多く希望する職業に就けるよう、大学では出来る限りの努力をいたす所存ですが、求人そのものが少ない現実に、如何ともしがたい状態です。そこで、この際卒業生の皆様のお力をお借りして、後輩のための就職情報を受け賜りたく、ここにお願いする次第です。時代とともに学生気質は少しずつ変わってはおりますが、母校の建学精神であります『女性の自立』を目指す教育は不変です。是非、可愛い後輩のため、母校発展のため、

就職に関する情報をお寄せください。後輩が採用試験を受けるチャンスを是非与えていただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご参考までに平成8年から平成10年3月に卒業する予定の、地域別に見た学生数を下の表に掲げます。愛知、静岡、三重、岐阜の東海4県に学生数は集中しておりますが、割合は少ないものの大学においては全国から集まっています。紙面の都合上、中部地方と関西地方のみ詳細に記載しましたが、全卒業予定者数は就職指導室に資料がございます。必要でしたらお問い合わせください。

また、今回の同窓会のニュースに同封させていただきました勤務先に関する調査用紙は、決して就職指導以外に用いるものではありません。1件でも多く求人を集めるため、大学から求人依頼を送付するための資料とするものです。就職に関して何かコメントがございましたらご記入いただき、ポストにご投函（平成8年2月末日まで切手不要です）していただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 出身地域別卒業予定者数

出身	大 学									短 期 大 学			
	体 育 学 科			児 童 学 科			食 品 ・ 栄 養 学 科			体 育 学 科		生 活 科 学 科	
	平 成 8 年 卒	9 年 卒	10 年 卒	平 成 8 年 卒	9 年 卒	10 年 卒	平 成 8 年 卒	9 年 卒	10 年 卒	平 成 8 年 卒	9 年 卒	平 成 8 年 卒	9 年 卒
東北地方	0	3	4	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0
関東地方	5	7	2	1	0	1	3	1	1	9	3	0	0
中部地方													
新潟県	1	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0
富山県	2	2	5	2	1	2	2	0	1	1	3	0	0
石川県	1	2	6	0	2	0	1	3	1	2	0	0	0
福井県	0	0	0	0	1	1	1	2	0	2	2	1	1
山梨県	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
長野県	6	1	3	2	2	2	2	2	0	4	2	3	2
岐阜県	7	8	7	6	5	0	0	4	0	10	2	1	2
静岡県	4	5	5	7	9	9	7	6	11	10	4	3	0
愛知県	40	52	48	24	23	30	32	27	27	46	47	150	106
三重県	9	5	9	7	2	1	3	3	4	4	4	4	3
関西地方													
滋賀県	3	4	4	1	1	0	0	1	0	4	1	0	0
京都府	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	3	0	0
大阪府	6	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
兵庫県	5	4	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
奈良県	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
和歌山県	1	2	0	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0
中国地方	10	9	6	2	3	3	0	1	2	10	6	2	1
四国地方	8	1	6	1	1	0	1	1	0	3	3	0	0
九州地方	9	7	5	8	8	9	2	3	3	7	1	1	0



## なぜアジア文化学科を創ったか



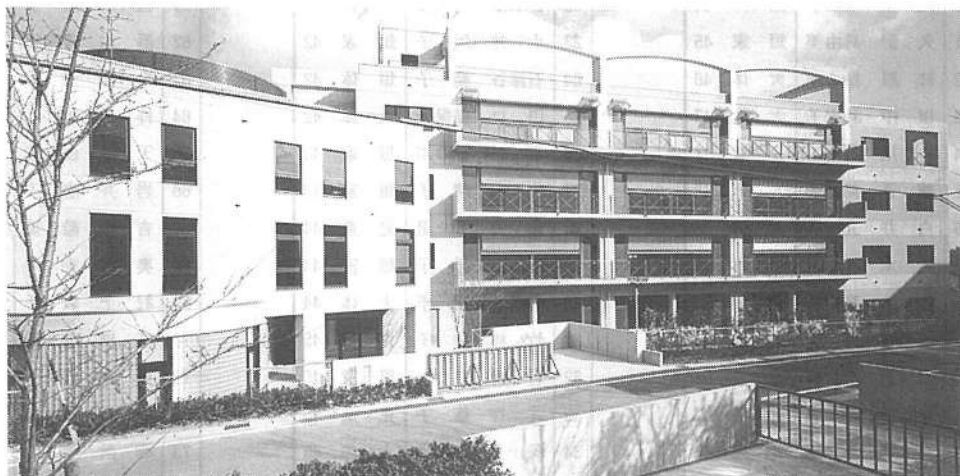
久野 昭

私たちの創ったアジア文化学科が、今年の4月から動きはじめました。普段「つくる」と訓む漢字として使われているのは「作」や「造」です。それなのに、いま、あえて私たちの「創」ったアジア文化学科と書いたのは、これまで日本にアジア文化学科を持つ大学がなかったからです。私たちは日本で最初の試みに挑戦し、全く先例のない学科を創ったのです。

高校卒業生数の減少傾向を眼の前にして、多くの大学がそれぞれの生き残りを賭けて、改革に踏み切り、それが大学の質を高めるための良い機会にもなっています。私たちは、既存の学科とはかなり異質な学科でありながら、しかも中京女子大学全体を活性化させる刺激にもなるような学科として、アジア文化学科を創りました。

世間でよく、これからはアジアの時代だと言われています。アジア諸国の急速な経済的成長ということもあります。また、西洋近代の技術文明の破綻が覆いがたくなるにつれて、アジアの文化への知的な関心が高まってきたという事情もあります。ただし、私たちがアジア文化学科を創ったのは、何よりも先ず私たち自身の足もとを見直し、私たち自身のアイデンティティーをはっきりさせる必要があると考えたからです。

そのためには、アジアの文化をただ海外の文化としてのみ見るのではなく、アジアの文化を学ぶことがそのまま日本の文化を、また日本人としての私たち自身を見直すことに通じなければなりません。これは日本の地理上の位置や文化的伝統から見ても当然のことなのです。当然のことなのに、これが学科としては日本で初めての試みになりました。応援していただければ幸いです。



アジア文化学科棟

## 創立90周年事業寄付ご芳名簿

金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度
100,000	1	福江昭子	短家 28		23	川所浩与	児童 1		35	五十嵐 貴英子	食栄 45
					24	水野裕香	短家 2		36	古川久江	大体 46
50,000	1	石川八重	短体 29		25	杉山靖子	短体 3		37	外山みな子	短体 46
	2	大北喜美子	大体 41		26	岡田典子	短生 6		38	岩本洋子	短体 48
	3	倉科ひろ美	食栄 3						39	武田ミナ子	食栄 49
	4	杉浦友美	短生 5	10,000	1	橘欣子	短体 28		40	綿谷優子	児童 49
					2	蔵城照子	短体 28		41	広浜利恵	大体 50
30,000	1	上梨敦子	短体 30		3	柘植美智子	短体 29		42	高木千津子	児童 50
	2	荻本孝子	短体 30		4	阿部恭子	短体 30		43	鈴木美津子	大体 51
	3	木村ミエ	短家 32		5	中西喜美子	短体 30		44	上坂邦子	児童 53
	4	伊藤穰子	短家 32		6	矢橋初美	短家 30		45	岩田純子	食栄 54
	5	杉本扶実子	短体 32		7	水谷昌子	短体 31		46	笹川正子	短体 54
	6	螺沢代	短体 35		8	塚崎嘉子	短体 31		47	安井かよ子	大体 54
	7	片桐勝子	短体 40		9	宮崎洋子	短体 31		48	福井葉子	短体 55
	8	北信子	短家 48		10	川瀬節子	短体 31		49	石垣千代子	児童 55
	9	佐藤紀子	児童 2		11	中村享	短体 31		50	松浦ヒロ子	短家 55
					12	岩間悦子	短体 32		51	福島明子	児童 56
20,000	1	未村良子	短体 30		13	藤田利子	短体 33		52	奥村千鶴	食栄 56
	2	河合きく	短家 30		14	曾根靖子	短体 34		53	赤塚尊子	大体 56
	3	伊藤さち子	短家 31		15	小嶋寿子	短体 34		54	山本益美	短家 56
	4	北野美登志	短体 32		16	大津俱子	短体 35		55	瀬戸今日子	児童 57
	5	藤原博子	短体 33		17	須渕美代子	短体 35		56	川田和美	短体 58
	6	高垣珪子	短体 36		18	入野智恵子	短体 35		57	大久保恵子	大体 58
	7	森本栄子	短体 40		19	高木好子	短家 37		58	上里弘美	大体 58
	8	倉岡千栄子	大体 42		20	島恵子	短家 37		59	竹兼久典代	児童 58
	9	高橋稚子	食栄 43		21	寺村房子	短体 37		60	五十嵐則子	児童 58
	10	鶴飼和子	短体 44		22	伊藤紀久枝	短体 37		61	佐々木隆子	児童 58
	11	久野真由美	短家 45		23	小林民子	短家 42		62	浜木香奈子	児童 59
	12	柿原松子	大体 46		24	石津谷範子	短体 42		63	松元知子	短体 59
	13	田中利恵子	大体 47		25	田口美保子	大体 42		64	杵田禎子	大体 60
	14	中川るみよ	児童 47		26	石原しのぶ	短家 43		65	天野由佳	大体 61
	15	兼子邦子	大体 48		27	佐々木清子	短家 43		66	岩井恵子	児童 62
	16	白井公子	大体 48		28	鶴田智里	児童 44		67	吉野絵美	児童 62
	17	鈴木美津子	短体 48		29	河合洋子	短家 44		68	奥村志伸	大体 62
	18	竹林真樹子	児童 54		30	金子陽子	大体 44		69	村上敦子	大体 62
	19	後藤里美	大体 55		31	竹林愛子	児童 45		70	芝田公美	大体 63
	20	山下千尋	児童 55		32	岩村やよい	児童 45		71	松枝浩子	児童 63
	21	泉野芳恵	児童 57		33	井口修子	児童 45		72	村石綾子	短家元
	22	西尾千穂	食栄 63		34	保上登代子	大体 45		73	崎浜恭子	児童元

金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度		
10,000	74	森 裕子	大体元	5,000	88	西 俱 聡子	大体	50,000	3	内 藤 良子	—		
	75	安 田 美智子	大体 2		89	中 島 与志美	短体		4	長 岡 洋子	大体 55		
	76	篠 原 千文	食栄 2		90	竹 田 千寿子	大体						
	77	釜 場 なる子	大体 3		91	讓 法子	児童						
	78	野 田 佳代	食栄 4										
	79	内 山 敦世	短家 4		1	鈴 木 美代子	食栄 43		30,000		溝 口 百合子	学内職員	
	80	伊 藤 置夏	短生 4		2	戸 田 英子	児童 49						
	81	小笠原直子	児童 4		3	須 山 桃代	短体 57		20,000		服 部 康子	学内職員	
	82	鈴 崎 智江	大体 4		4	佐 藤 友美	食栄 62				佐 藤 祐子		
	83	松 井 明子	児童 5		5	塩 井 文都	大体 5				山 田 昌美		
	84	栗 原 直子	児童 5		6	藤 本 ふじ	食栄				荻 野 泰代		
	85	西 川 晶子	食栄 5										
	86	田 中 のぞみ	短体 5		5,000 以下	1	西 川 恵子		短家 39	10,000		永 井 美奈子	学内職員
	87	清 水 美穂子	大体 5			2	川 口 久恵		児童 50				

## お わ び

「創立90周年記念事業」に対する寄付のご芳名欄（7月末日現在）は、上記の通りになりました。卒年度など、振込用紙の記載に基づいて、作成致しました。

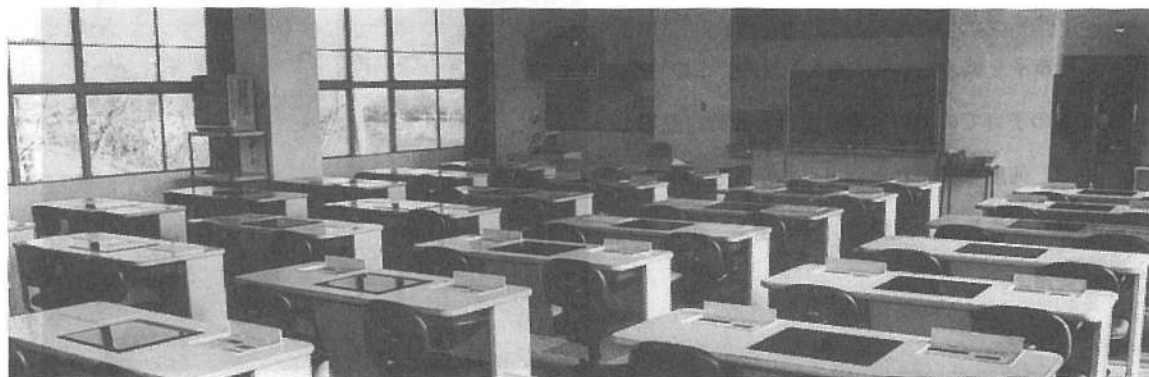
ご芳名に関する誤り、記載なされていच्छゃ

らない方がありましたら、誠に恐れ入りますが、事務局宛にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

いろいろと行き届かない事が多く、皆様にご迷惑おかけいたしておりますことを、重ねてお詫び申し上げます。

## ●●●●同窓会より寄贈したLL・VA機器●●●●

卒業生の温かいご協力が、在校生の広い知育教育にも貢献でき、益々の母校発展に役立てたことを共に喜びたい。



## クラス会の様子

### 〈昭和32年度卒業体育科同期会〉

平成6年2月19日(土)名古屋クラウンホテルで卒業して36年、2回目の同期会が開かれました。

遠くは九州、鳥取から…、そして教員あり、主婦あり、パートありで、それぞれが精一杯生きてきたことを、本音で話し合い、楽しみました。



### 〈昭和42年度卒業体育科同期会〉

## 29年の月日は流れて

42年度短体卒業生 津田好子

平成6年10月10日、短体卒業生16名、大体卒業生3名、溝口百合子先生をお迎えして久しぶりのクラス会を実施しました。先生は年を増すごとにお若くなられ、私達は年を重ねる度に先生に近づいていく様な不思議な気分にさせられました。時は我々人間に平等に与えられ、止まる事なく、二度と戻らず、だからこそ今を大切に思う今日この頃です。歳月は、人をこんなにも変えられるものか実感できる程、友だちは立派になられ、母として、職業婦人として、あふれんばかりの輝きをはなってみえました。時あるごとに口ずさんだ、あの校歌、「賢しこき母よ、良き妻といわれんことを誓いつつ、身には布子を纏えども心に纏えや綾錦」この詩は、30代の子育ての頃には教員生活の通勤自動車の中で、何度も口ずさみ励まされたことか。ありがとう、先生方、先輩方、友人達よ。がんばれ後輩達よ。



# アジア文化学科開設記念行事と大学祭の日程

大学教職員・学生・卒業生が共に、大学の発展に向けて、2日間にわたり、行事が開かれます。  
卒業生の皆さんも若き学生と大学教職員と共に語り合う良い機会です。大勢のご参加を希望します。  
是非、ご参加下さい。

10月28日（土）

アジア文化学科開設記念

1. 記念講演（大学祭とリンクさせて実施）

場所 中京女子大学内

講演（1）梅原 猛（国際日本文化研究センター前所長）

演題「東アジア文化と日本」

12：30～ スポーツサイエンス 第1アリーナ

（2）天野鎮雄（パーソナリティ）と山田 昌（女優）ご夫妻

14：30～ アジア文化棟

◎大学祭

10：00～16：00 オープニング・野外フェスティバル

11：00～16：00 模擬店・研究発表・メイク講座

17：00～19：30 アマチュアバンドバトル大会

10月29日（日）

1. わたしたちの骨が“アブナイ”

本学卒業生西岡茂子先生（食品栄養）が、今若い人たちにも心配され始めている「骨粗鬆症」に関わる骨密度の測定を実施します。卒業生のみなさんもこの機会に測定され、今後の生活に役立てられたらいかがでしょうか。是非ご参加下さい。

◎大学祭

10：00～16：00 野外フェスティバル

11：00～16：00 模擬店・研究発表

15：00～17：00 プロコンサート

17：30～20：30 後夜祭

## 創立90周年関連事業

・ 記念式典

平成7年11月1日（水）午前10時～  
ナゴヤキャッスルホテル 青雲の間

・ 記念祝賀会

平成7年11月1日（水）午前11時～  
ナゴヤキャッスルホテル 天守の間

# 平成8年度入学者選抜試験実施要項

〈大学・短期大学部〉

区分	学部	学 科	出 願 期 間	試 験 日	試 験 場	合 格 発 表	入 学 手 続 日
推 薦	健康科学部	健康スポーツ科学科 栄養科学科	7年11月1日(木) ～11月8日(木)	11月12日(日)	本 学	11月16日(木)	7年 12月1日(金) まで
	人文学部	児童学科 アジア文化学科					
	短期大学部	体育学科 生活科学科					
入 試 一 般	健康科学部	健康スポーツ科学科 栄養科学科	7年11月6日(月) ～11月21日(火)	11月26日(日)	本 学 ※那覇	12月1日(金)	7年 12月15日(金) まで
	人文学部	児童学科 アジア文化学科		11月25日(土)	本 学		
	短期大学部	体育学科 生活科学科					
一 般	健康科学部	健康スポーツ科学科 栄養科学科	8年1月8日(月) ～1月26日(金)	2月2日(金)	本 学 東 京 金 沢 大 阪 広 島 福 岡 那 覇	2月9日(金)	8年 2月19日(月) まで
	人文学部	児童学科 アジア文化学科		2月3日(土)			
	短期大学部	体育学科 生活科学科					
入 試 センター試験利用	健康科学部	健康スポーツ科学科 栄養科学科	8年1月22日(月) ～2月8日(木)	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 受 験		2月16日(金)	8年 2月26日(月) まで
	人文学部	児童学科 アジア文化学科					
入 試 後 期	健康科学部	健康スポーツ科学科 栄養科学科	8年2月19日(月) ～3月7日(木)	3月14日(木)	本 学 東 京	3月18日(月)	8年 3月26日(火) まで
	人文学部	児童学科 アジア文化学科			本 学		
	短期大学部	体育学科 生活科学科					

## 大学院健康科学研究科（修士課程）

### 研究分野

専攻名	研 究 分 野
健康科学専攻	健康体力学・健康栄養学・健康運動学・健康リフレッシュ学

区 分	出 願 期 間	試 験 日	試 験 場	合 格 発 表
前期募集	7年9月6日(水)～9月20日(水)	9月27日(水)	本学	9月29日(金)
後期募集	8年1月17日(水)～1月31日(水)	2月7日(水)	本学	2月9日(金)



現在の大学の様子



## 学園創立90周年記念事業から 再度寄付のお願い

同窓生の皆様には、お健やかに過ごしのことと存じます。母校の発展はめざましく、90周年を基にさらに飛躍しようとしています。

過日記念事業の為に募金趣意書を送らせていただきましたところ、早速のご協力を有難うございました。

しかし、近年の経済不況の為に、目標金額に達していません。何かと出費のかさむ折と存じますが、今一度心を向けていただきたく、再度振込み用紙を同封させていただきました。どうぞこの意をお汲み取り下さいまして、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 災 害 見 舞

#### 今だ、癒えぬ心の傷あと

近代化の波にのり、高度成長の先端を走り、国際都市としてわが国屈指の阪神地方。その中心都市神戸直撃というニュースは、日を追うごとに強い衝撃を受けました。

あれから、10ヶ月。震災の傷あとは今だに深くとも懸命に復興への道を歩いて惜しめない努力をなさって見えるみなさま方に、心より御見舞申しあげます。

本大学に在職中であらわれました、平岡先生御夫妻、多田先生の愛娘さんの御不幸にたいしての弔慰金、並びに御見舞金と震災地のみなさま方への御見舞金のそれぞれを同窓会よりおくらせていただきました。

### 編 集 後 記

今年は、創立90周年を迎えると共に、大学も改組元年のスタートを切り新鮮さを感じます。

昭和52年中京女子大学同窓会が発足して以来19年目を迎えましたが、これからの同窓会は、より大学との相互的な協力が大切な時期であると思われます。そのためには、同窓会の活動運営をより強化する必要を痛切に感じております。